

青森県医師臨床研修対策協議会

平成30年度事業実績及び令和元年度事業予定

1 平成30年度事業実績

内 容	年 月 日	備 考
第 11 回臨床研修医セミナー 青森県医師臨床研修病院・ 専門研修プログラム合同説明会	H30.6.2(土)	弘前市(弘前大学医学部)
岩手県臨床研修病院合同説明会	H30.7.6(金)	岩手県(岩手医科大学)
レジナビフェア 2018 東京	H30.7.15(日)	東京都(東京ビックサイト)
第 26 回臨床研修指導医ワークショップ	H30.8.18(土)-19(日)	弘前市(アートホテル弘前シティ)
秋田県臨床研修担当者ミーティング	H30.9.7(金)	秋田県(秋田大学)
第 12 回臨床研修医ワークショップ	H30.10.12(金)-13(土)	平川市(アップルランド)
レジナビフェア 2018 仙台	H30.10.28(日)	宮城県(仙台国際センター)
第 27 回臨床研修指導医ワークショップ	H31.1.19(土)-20(日)	青森市(ホテル青森)
秋田県医師臨床研修病院合同説明会	H31.2.8(金)	秋田県(秋田大学)
レジナビフェアスプリング 2019 東京	H31.3.11(日)	東京都(東京ビックサイト)

2 令和元年度臨床研修関係事業(予定)

内 容	期 日	備 考
岩手県医師臨床研修病院合同説明会	R 元.5.10(金)	岩手県(岩手医科大学)
第 12 回臨床研修医セミナー 青森県医師臨床研修病院・ 専門研修プログラム合同説明会	R 元.6.1(土)	弘前市(弘前大学医学部)
レジナビフェア 2019 東京	R 元.6.23(日)	千葉県(幕張メッセ)
第 28 回臨床研修指導医ワークショップ	R 元.8.24(土)-25(日)	弘前市(アートホテル弘前シティ)
秋田県医師臨床研修病院合同説明会	R 元.9.20(金)	秋田県(秋田大学)
レジナビフェア 2019 仙台	R 元.10.6(日)	宮城県(仙台国際センター)
第 13 回臨床研修医ワークショップ	R 元.10.18(金)-19(土)	青森市(南部屋・海扇閣)
第 29 回臨床研修指導医ワークショップ	R2.1.18(土)-19(日)	青森市(ホテル青森)
秋田県医師臨床研修病院合同説明会	R2.2.7(金)	秋田県(秋田大学)
レジナビフェアスプリング 2020 東京	R2.3(未定)	千葉県(幕張メッセ)

1 第11回臨床研修医セミナー

開催年月日	平成30年6月2日(土) 9:00~12:30
会場	弘前大学医学部学生支援センター2号棟 2階
参加者数	臨床研修医 114名 学生 24名 ※ 事業実施協力者 指導医 31名 事務職 29名
概要	<p>第1部 CASE SHARE CONFERENCE</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合司会 弘前大学医学部附属病院 総合診療部 加藤 博之 教授 ・ 各症例司会 各病院の指導医 ・ コメンテーター 藤田保健衛生大学救急総合内科 岩田 充永 教授 <p>第2部 ランチョンセミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講師 藤田保健衛生大学救急総合内科 岩田 充永 教授 ・ 演題 ERから学べること(臨床力、人間力) ・ 司会 弘前大学医学部附属病院 総合診療部 加藤 博之 教授 <p>第1部は、県内の臨床研修医が一堂に集まり、共有したい教訓的な症例をクイズ形式で提示し、6グループ(1グループ7~8人)で検討した。発表症例数は11で、症例毎に岩田教授からコメントを受けた。</p> <p>第2部は、岩田教授による「ERから学べること(臨床力、人間力)」と題した講演を実施した。岩田教授が、救急医療を題材として、地域医療への思いを、実体験を交えつつ語り、参加者が聴講した。</p>



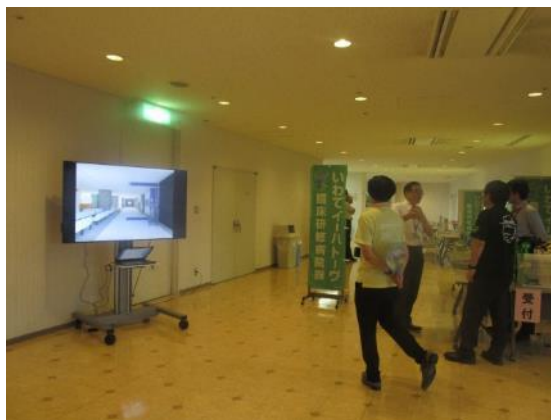
2 青森県医師臨床研修病院合同説明会・専門研修プログラム合同説明会

開催年月日	平成30年6月2日(土) 13:00~16:00			
会場	弘前大学医学部学生支援センター1号棟 3・4階、2号棟 2階			
参加者数	学生 97名 臨床研修医 53名 修学資金相談(学生) 4名 ※ 実施協力者 指導医 43名 臨床研修医 117名 事務職 50名			
概要	<p>弘前大学医学部学生支援センター1号棟の3・4階に臨床研修病院13病院、弘前大学医学部附属病院関連病院のほか、秋田県臨床研修協議会といわてイーハトーブ臨床研修病院群のブースを設置した。</p> <p>各病院では、会場を訪れた学生に声をかけ、研修プログラムや地域、病院の魅力を紹介した。</p> <p>また、弘前大学医学部学生支援センター2号棟では、医師修学資金貸与者の集いを開催し、18名の学生が参加した。その他、青森県の医師修学資金相談ブースを設置し、学生の相談に応じ、修学資金制度やキャリア形成について助言した。</p>			
	臨床研修			
	病院名	学生数	病院名	学生数
	青森県立中央病院	43名	青森労災病院	11名
	青森市民病院	45名	十和田市立中央病院	23名
	弘前大学医学部附属病院	17名	三沢市立三沢病院	8名
	国立病院機構 弘前病院	22名	むつ総合病院	36名
	健生病院	17名	大館市立総合病院	34名
	黒石病院	30名	市立函館病院	26名
	つがる総合病院	31名	秋田県臨床研修 協議会	40名
	八戸市立市民病院	26名	いわてイーハトーブ 臨床研修病院群	40名
	八戸赤十字病院	12名		
	専門研修			
青森県立中央病院	2名	弘前大学医学部附属病院	51名	



3 岩手県臨床研修病院合同説明会

開催年月日	平成30年7月6日(金) 16:00~18:00
会場	岩手医科大学附属循環器医療センター8階研修室及びラウンジ
参加者数	学生 14名 ※ 実施協力者 指導医1名 臨床研修医4名 事務職3名 参加病院 八戸市立市民病院、八戸赤十字病院
概要	<p>参加した臨床研修病院は、青森県の2病院(八戸市立市民病院と八戸赤十字病院)、岩手県の12病院(いわてイーハトーブ臨床研修病院群)、秋田県の3病院(秋田県臨床研修協議会)。</p> <p>研修医は、研修プログラムの魅力や研修中の体験などの様々な情報を紹介し、医学生は耳を傾けていた。</p> <p>全体の参加者が40名と、昨年度よりも20名以上減少、本県ブースへの参加者数も昨年度と比較すると減少した。</p> <p>岩手県合同説明会は、昨年度まで秋頃開催していたが、今年度はマッチング申込前の6年生をターゲットとするため、7月に開催した。しかし、6年生は既に昨年度の説明会に参加している場合が多く、今回の説明会に参加する必要性が薄いことが、参加者数が伸びなかった一因と考えられる。</p>



4 民間医局レジナビフェア2018東京

開催年月日	平成30年7月15日(日) 10:00~17:00
会場	東京ビッグサイト西1・2ホール(東京都江東区有明3-11-1)
参加者数	学生 93名 ※ 実施協力者 指導医 9名 臨床研修医 25名 事務職 17名
概要	<p>本県は、医ノ森 aomori のコンセプトカラーに夏の青森ねぶたが浮かび上がるイメージの大型看板を掲げ、昨年に引き続きブースとして出展した。</p> <p>統一感のある装飾を施し、オール青森としてフェアに臨み、青森県の臨床研修病院の魅力をPRした。</p> <p>また、スクリーンを借り上げ、ブース内で県内の観光動画を再生し、ブース前を通行する学生からも見えるよう、県内の魅力発信を行った。</p> <p>旭川医科大学、弘前大学、東北大学、筑波大学、山梨大学、富山大学、東京医科大学、日本大学、獨協医科大学、藤田保健衛生大学など、全国から医学生がブースに来場し、研修医や指導医が、実体験をもとに、症例や手技、外来、病棟管理など、青森の臨床研修病院では様々な経験を積み、医師として成長できることを説明した。</p> <p>今年度は直前に発生した西日本の豪雨災害等の影響もあってか、全体の医学生動員数が、昨年に比べて一割強減少しており、当県ブースへの来訪者数も減少した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者データ <ul style="list-style-type: none"> 参加者数：2,443名(昨年：2,768名)、参加施設数：540施設 学年別参加割合 <ul style="list-style-type: none"> 6年：9.0%、5年：62.5%、4年：26.9%、その他：1.6% エリア別参加割合 <ul style="list-style-type: none"> 北海道・東北：8.6%、関東：63.7%、甲信越：6.4%、東海・北陸：10.2%、関西：3.2%、中国・四国：3.4%、九州・沖縄：4.9%、不明：1.1%



5 第26回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ

開催年月日	平成30年8月18日(土)、19日(日)
会場	アートホテル弘前シティ
参加者数	指導医 17名
概要	<p>青森県内の臨床研修病院や協力病院、協力施設における指導医の能力向上と卒後臨床研修の充実を図るため、厚労省の指針に沿った内容で実施した。</p> <p>指導医として臨床研修医を育成する能力を身につけるため、2日間に渡ってタスクフォースによる講義やグループ討議を通じて理解を深めた。</p> <p>ゲスト講師として東北厚生局医事課長を呼び、臨床研修制度の最近の動向等についての講演を受けた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ディレクター 青森県臨床研修対策協議会会長 吉田 茂昭 先生 (青森県病院事業管理者) ・ チーフタスクフォース 青森県臨床研修対策協議会副会長 加藤 博之 先生 (弘前大学医学部附属病院総合診療部部长 教授) ・ タスクフォース むつ総合病院副院長 坂井 哲博 先生 健生病院副院長 竹内 一仁 先生 弘前大学医学部附属病院総合診療部副部长 准教授 大沢 弘 先生 弘前大学大学院医学研究科総合地域医療推進学講座講師 米田 博輝 先生 弘前大学医学部附属病院総合診療部助教 小林 只 先生 弘前大学医学部附属病院総合診療部助手 穂元 崇 先生 ・ ゲスト講師 東北厚生局医事課長 玉井 裕也 先生



6 秋田県臨床研修担当者ミーティング

開催年月日	平成30年9月7日（金）
会場	秋田大学医学部 本道会館2階 研修室
参加者数	臨床研修病院事務職員等 20名
概要	<p>秋田県において、医師臨床研修環境の充実を図ることを目的として、臨床研修病院事務担当者等を対象とした研修会が開催された。</p> <p>秋田大学医学部総合地域医療推進学講座准教授 蓮沼直子先生から「アンガーマネジメント（怒りの感情のコントロール）」についてのミニレクチャー、秋田県内臨床研修病院から事例発表があった。</p> <p>その後、参加者が4つのグループに分かれて、グループディスカッションを行った。臨床研修病院事務担当者の役割、医師・研修医獲得に向けた取組について、議論が交わされた。</p>



7 第12回青森県臨床研修医ワークショップ

開催年月日	平成30年10月12日(金)、13日(土)
会場	ホテルアップルランド南田温泉
参加者数	研修医 75名 ※ 実施協力者 指導医12名、事務職17名
概要	<p>「感染症」をテーマとし、ホテルアップルランド南田温泉(平川市)を会場に、青森県内の1年次の臨床研修医が一堂に集う1泊2日のワークショップを実施した。</p> <p>1日目は、感染症の現況に関する講演や、診療の現場に関するグループワークが行われた。夜には懇親会が開かれ、参加者同士の交流が深められた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 弘前大学保健管理センター所長 高梨 信吾 先生 ・ 弘前大学大学院医学研究科 齋藤 紀先 先生 <p>2日目は、後天性免疫不全症候群、医療現場でのコミュニケーション及び医療現場で必要とされる法知識に関する講演が行われ、研修医は熱心に聴講していた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エデュコミュニケーション代表 桑田 みか 先生 ・ 青森県立中央病院がん診療センター統括部長 久保 恒明 先生 ・ 五戸法律事務所弁護士 五戸 雅彰 先生



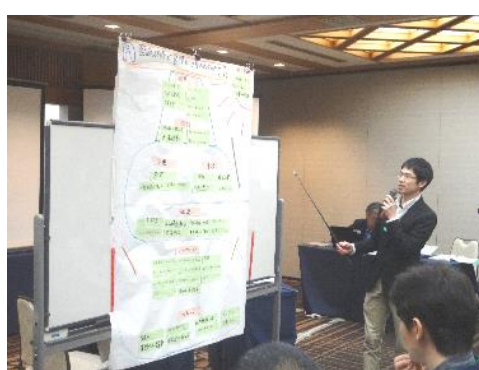
8 民間医局レジナビフェア2018仙台

開催年月日	平成30年10月28日(日)
会場	仙台国際センター(宮城県青葉区)
参加者数	学生 延べ201名 ※ 実施協力者 指導医6名、研修医23名、事務職17名
概要	<p>青森県からは12病院が参加。統一感のある装飾により、オール青森としてフェアに望み、青森県の臨床研修病院の魅力をPRした。</p> <p>東京会場と比較して、全体の参加者数、施設数は小規模であり、開催時間も4時間と短かったが、医学生・施設ともにモチベーションが高い様子だった。</p> <p>弘前大学、岩手医科大学、東北大学、山形大学等の東北地方の医学生を中心に来場し、指導医、研修医及び事務職員が、症例、手技、外来及び病棟管理など様々な経験を詰めることや、職場の雰囲気、勤務環境等、自分の臨床研修病院で働く魅力について説明した。</p> <p>県内病院ブースの延べ来訪者数は200を超え、席が空くのを待つ学生も見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者データ 参加者数：276名、参加施設数：99施設 学年別参加割合 6年：0.4%、5年：32.1%、4年：61.0%、3年：5.1%、その他：1.5% エリア別参加割合 北海道・東北：92.7%、関東：2.8%、甲信越：2.2%、北陸：0.7% 東海・中部：0.4%、関西・中国・四国：0.0%、九州・沖縄：1.1%



9 第27回青森県医師臨床研修対策協議会臨床研修指導医ワークショップ

開催年月日	平成31年1月19日(土)、20日(日)
会場	ホテル青森
参加者数	指導医22名
概要	<p>青森県内の臨床研修病院や協力病院、協力施設における指導医の能力向上と卒業臨床研修の充実を図るため、厚労省の指針に沿った内容で実施した。</p> <p>指導医として臨床研修医を育成する能力を身につけるため、2日間に渡ってタスクフォースによる講義やグループ討議を通じて理解を深めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ディレクター 青森県臨床研修対策協議会会長 吉田 茂昭 先生(青森県病院事業管理者) ・ チーフタスクフォース 青森県健康福祉部医療薬務課良医育成支援特別顧問 小川 克弘 先生 ・ タスクフォース 東北厚生局健康福祉部医事課医師臨床研修専門委員 堀内 三郎 聖マリアンナ医科大学名誉教授 齋藤 宣彦 聖マリアンナ医科大学教授 伊野 美幸 岩手県立中央病院副院長 高橋 弘明 岩手県立中部病院副院長 兼 第1神経内科長 田村 乾一 青森県立中央病院副院長 高橋 賢一 青森市民病院副院長 豊木 嘉一 国立病院機構弘前病院臨床研究部長 石黒 陽 健生病院救急集中治療部医長 入江 仁 青森労災病院長 玉澤 直樹 十和田市立中央病院外科・診療部長 杉田 純一 むつ総合病院副院長 坂井 哲博 むつ総合病院泌尿器科部長 吉川 和暁



10 秋田県臨床研修担当者ミーティング

開催年月日	平成31年2月8日(金)
会場	秋田大学医学部学生実習棟 2階チュートリアル室
参加者数	学生 2名 ※ 実施協力者 指導医1名、研修医2名、事務職2名 参加病院 八戸市立市民病院
概要	<p>参加した臨床研修病院は、青森県1病院(八戸市立市民病院)、岩手県5病院、秋田県14病院。</p> <p>全体で100名以上の医学生が参加したが、地域枠の医学生が非常に多く、秋田県以外の病院は集客に苦戦した。</p> <p>青森ブースに来訪したのは2名で、どちらも説明会終了後の懇親会に参加しており、採用に向けて効果があったものとする。</p>



11 民間医局レジナビフェアスプリング2019東京

開催年月日	平成31年3月11日(日)
会場	東京ビッグサイト東7・8ホール
参加者数	学生延べ111名 ※ 実施協力者 指導医5名、研修医15名、事務職8名
概要	<p>本県は、医ノ森 aomori のコンセプトカラーに青森ねぶたが浮かび上がるイメージの大型看板を掲げ、昨年に引き続き大型ブースとして出展した。</p> <p>統一感のある装飾を施し、オール青森としてフェアに臨み、青森県の臨床研修病院の魅力をPRした。</p> <p>弘前大学、岩手医科大学、東京女子医科大学、横浜市立大学、信州大学、京都大学、熊本大学、琉球大学など、全国から医学生がブースに来場し、研修医や指導医が、実体験を基に、症例、手技、病棟管理など、青森県の臨床研修病院で様々な経験を積み、医師として成長できることを説明した。</p> <p>全体の参加学生数が過去最高数となったことや研修医が呼び込みに積極的に参加したことが要因となり、青森県ブースへの来訪者数は昨年度から増加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者データ 参加者数 2,139名(昨年:2,064名) 参加施設数:362施設 学年別参加割合 6年:0.6% 5年:25.7% 4年:68.9% その他:4.8% エリア別参加割合 北海道・東北:12.8%、関東:59.5%、甲信越:7.0%、東海・北陸:6.6% 関西:2.4%、中国・四国:4.9%、九州・沖縄:5.4%、不明:1.4%

